



Synesgy™

The sustainability network.

ESG評価のための グローバル・デジタル・プラットフォーム



Synesgyとは

Synesgyは、企業とそのサプライチェーンが持続可能な開発目標(SDGs)を達成するためのESG評価グローバル・デジタル・プラットフォームです。

質問票が多言語対応しているため、世界中に点在するサプライヤーを共通の指標で評価できます。

特徴

- ✓ 自動的に算出されるESGスコア
- ✓ 各企業のESGインパクトを改善するためのアクションプランを提案
- ✓ 業界の特殊性を考慮した、35の産業別質問票
- ✓ 回答の信頼性を確保するための、ロジカルチェック、ベンチマークチェック、ドキュメントチェックの自動化
- ✓ 日本語を含む20言語に対応したインターフェースを持ち、さらに拡大中
- ✓ GRIと国連SDGsに基づき、ESG要素を企業格付けに組み込むことに長年の経験を持つCRIF格付け機関が構築した質問票



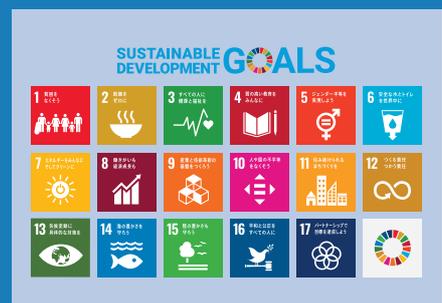
日本のNDC(国が決定する貢献)

我が国の温室効果ガス削減目標

日本は、2021年4月に、2050年カーボンニュートラルと総合的で、野心的な目標として、2030年度において、温室効果ガス46%削減(2013年度比)を目指すこと、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けることを表明しました。

持続可能な開発目標(SDGs)

2015年9月25日、国連加盟国193カ国の政府が「持続可能な開発のためのアジェンダ2030」に署名しました。国連総会で承認された行動計画には、17の具体的な持続可能な開発目標が含まれ、合計169の関連ターゲット分野を含むより広範な行動計画に定められています。





持続可能な
開発目標(SDGs)
にも準拠

17の目標には、政府や国家だけでなく、すべての企業も関与しています。
ESGの原則は、企業が何をすべきかを表現したものです。

Environment

環境

- 化石燃料への依存
- 高いウォーターフットプリント
- 森林伐採への加担
- 廃棄物処理

Social

社会

- 地域社会との対立
- 従業員の健康と安全の重視
- 多様性の擁護
- 従業員間の適切な対人関係

Governance

ガバナンス(統治)

- 従業員の給与に不釣り合いな賞与
- 汚職スキャンダルへの関与
- 脱税のための海外子会社の開設

プラットフォームの概要

01 サプライヤーチェーン責任者はここから開始

サプライチェーンの責任者は、サプライヤーリストをポータルにアップロードし、サプライヤーに質問票への回答を促します。



01

02

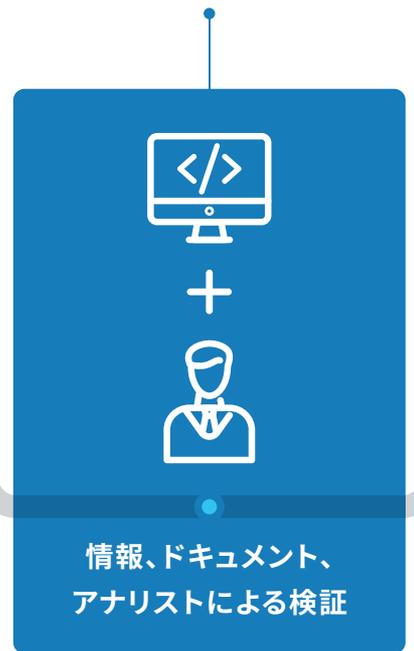


質問票への回答

03 サプライヤーはここから開始

質問票に回答することで、サプライヤーはすべてのESG原則を満たすために講じた行動を自己申告します。

アラートシステムは、CRIFの情報資産に基づき、質問票への回答内容の妥当性や整合性を自動的にチェックし、不整合を発見した場合には、入力した情報を確認するため裏付けとなる書類の提出を求めます。



03

質問票 —5つのマクロセクション—

1 事業

質問
7

- 会社の持続可能な戦略
- ESGリスクマネジメント
- 研究開発との関連性
- デジタル化サービス
- 製品・サービスのラベリングとポリシー

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2 環境

質問
20

- 水・エネルギー・廃棄物
- 環境認証

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



3 社会

質問
20

- 人事管理
- 認証と法規制
- ステークホルダーとの関係
- テリトリーとの関係

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



04

- A
- B
- C
- D
- E

ESGスコア

プラットフォームは、質問票の情報に基づいて、サプライヤーの全体的なESGスコアを5つのクラスに分けて算出します。

サプライヤーは、レポート、改善提案、Synesgy認定証をダウンロードできます。



レポート、改善提案、
認定証

05

06



12ヶ月間有効

12ヶ月後に、サプライヤーは再度質問票に回答するよう求められます。

4 ガバナンス (統治)

質問
13

- 取締役会の構成
- 認証と法規制

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



5 業種

質問
25-35

このプラットフォームは、35のマクロな業種別質問票を提供し、企業が特定の所属産業に関連する質問に答えることを可能にします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Synesgy コンポーネント



質問票

ESG フレームワーク

主な質問

業界別質問

CRIF格付機関



改善提案

ローカル規制

ローカルビジネス情報

法的及び
プライバシー検証

アナリストチームによる
データ品質



サポート・ コンサルティング

サプライヤーに対する
カスタマーサポート

サプライチェーンの
親企業に対する
カスタマーサポート

FAQ

相談窓口



査定

スコア

認証

ダッシュボード

アクションプラン

質問票



Synesgyの成功の鍵となるツールは、UNGC、GRI、UN17SDGs、EBA LOMなどのグローバルESG市場規制をタイムリーかつ厳密に参照した専用質問票です。

全体として、質問票は2つのレイヤーで成り立っています。第一のレイヤーは、GRI (Global Reporting Initiative) を参考に、ビジネス面、環境・社会・ガバナンスの原則を中心に質問するコアバージョンです。

第二のレイヤーには、企業の属する業種に基づいた、業種別セクションが設けられています(35業種を網羅)。また、レーティングはグローバルに企業の信用調査を行っているCRIF格付け機関(CRA)の審査を行っています。

改善提案



Synesgyの最終評価では、回答者の方がスコアと認証を直接ダウンロードすることができ、持続可能性、説明責任、透明性の評価を得ることができます。ESGパフォーマンスは、質問票を構成する5つのマクロセクションに分かれた、総合的なスコアで評価されます。そして、企業は持続可能性のレベルを高めるために開発すべき領域を明らかにするSynesgyのアクションプランを自由に使うことができます。

サポート・コンサルティング



Synesgyは、継続的なサポートを実現するために、進出国ごとにカスタマーケアとコンサルティングを提供しています。カスタマーケアとは、ESGの原則の理解から、質問票の記入、認証の取得まで、プロセスのすべての段階でお客様に寄り添って支援することであり、プラットフォームを使い始める際のバイヤーや銀行の導入にも対応しています。

アラートシステム



データおよび回答の品質を保証するために、自動および手動によるチェックが行われます。このプラットフォームは、CRIFの情報資産をもとに、質問票で報告された内容の妥当性や整合性を自動的にチェックするアラートシステムで設定されています。

アラートシステムが矛盾を検出した場合、回答者は質問票の回答を確認するための裏付け資料を要求されます。

矛盾に対し、経験豊富なアナリストチームがドキュメントをチェックし、必要であれば回答者に直接問い合わせをします。

事業を牽引する Synesgy



1,700社以上
サプライチェーンリーダー(企業)



60万社
参加サプライヤー

信頼性

- CRIFの格付け機関及びESG評価での長年の経験と実績
- データ&アナリティクスプロバイダーとしての役割を確立
- 常に最適調整されるスコアモデル

グローバルな対応

- 関連する特定の国のローカライゼーション
- 世界中のどの会社でもすぐに使用可能

中小企業にも対応

- 信頼できる回答を得るために必要なチェックを実施
- 中小企業でも使える製品: ESG格付けのコストや複雑さを感じさせない信頼性の高い結果

ビジネスモデル

- プラットフォームに招待されたサプライヤーは、少額の年会費での利用が可能
- サプライチェーン責任者/ポートフォリオマネージャー/アソシエーションの方は完全無料

メリット

中小企業により強い

Synesgyは、上場企業や大企業だけでなく、中小企業に対してもESGスコアとアクションプランを提供します。

改善提案

Synesgyは、質問票に回答した全ての企業に対し、ESGスコアを改善するために必要な具体的アクションプランを自動的に提供します。

ビジネスモデル・価格設定

Synesgyは、サプライチェーンの責任者、銀行、団体には無料で提供し、質問票に回答する企業にお願いする年会費は少額のため、非常に競争力のある価格モデルとなっています。

価格体系



サプライチェーン・銀行の責任者



FREE

プラットフォームの
利用は**無料**



PREMIUM

カスタマイズに
応じた価格設定



認定取得企業

登録と1回目の質問票記入

40,000円(税抜)/年

年間プラットフォーム利用料により、
サプライヤーの質問票を希望する
サプライチェーンや顧客に公開することができます。

エンド・ツー・エンドでの情報企業

CRIFは、与信管理や企業調査レポートのシステム、分析、アウトソーシング、そしてデータ処理サービスに加え、事業開発やオープンバンキングへの高度なデジタルソリューションの提供に特化したグローバル企業です。

CRIFの原動力となる使命は、信頼できる情報とソリューションを提供することで、より力強い意思決定を実現し、デジタルによる革新を加速させ、消費者や企業に価値と新たな機会を創出することです。当社は、金融サービスから除外または十分な対応を受けていない人々に対して、金融サービスへのデジタルアクセスとその利用を許諾し、法令に準拠した与信サービスの利用を高める革新的なソリューションを提供することに責任を持って取り組んでいます。

CRIFは現在、銀行与信情報の分野で欧州大陸を代表するグループであり、企業および商業情報、そして与信とマーケティング管理の統合サービスにおいて世界を代表する企業のひとつです。

CRIFは、絶え間ない革新、最先端技術の活用、情報管理の文化により、銀行と金融機関、保険会社、通信とメディア、エネルギーと公益事業会社、そして企業や消費者を支援しています。さらにCRIFは、エンドツーエンドでソリューションを提供する一環として、消費者および中小企業向けに、金融の健全性、詐欺やサイバーリスクの防止と保護に特化した一連のサービスを開発しました。

そして、CRIF Ratingsは、ESMA公認の信用格付機関および公認ECAIの役割として、EU域内に拠点を置く非金融企業に対する評価も提供しています。CRIFは、AISPとしての対象範囲を、オープンバンキングに関するPSD2指令が適用される欧州31カ国に拡大しました。

情報

- 信用調査とデータ共有
- 企業調査レポート
- マーケティングサービス
- ESGサービスと情報
- 即時利用可能な信用調査プラットフォーム
- 資産情報



インテリジェンス

- 高度なビッグデータの分析
- オープンバンキング機能一式
- リスク、デジタルおよび経営へのコンサルティング
- ESG評価とアドバイス
- 信用格付けサービス



プラットフォーム

- カスタマージャーニーを支援するサービス基盤
- 入会審査とオンライン受付
- 顧客との関係構築と事業開発
- エンドツーエンドでの与信管理プラットフォーム
- 本人認証と不正防止サービス



アウトソーシング

- 業務プロセスの最適化
- 債権回収および特別サービス
- 不動産査定
- 不動産の活力と持続可能性



消費者向けサービス

- 経済的健全性と支払い能力
- 個人情報の盗難やサイバーリスクからの保護



Synesgyに関するお問い合わせはこちら

info@crif.co.jp

CRIF Japan 株式会社

〒100-6908 東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビル8F xLINK
TEL: 03-6824-5770(代表) URL: www.crif-jp.com

※CRIFが提供する情報は、社会的信頼が十分に担保された調査機関より取得いたします。しかしその内容について一切責任は負いません。※本サービスは予告無く、変更・中止される場合がございますので、予めご了承ください。
●「CRIF」とそのロゴはCRIFとその関連会社の、EU・米国・日本・各国における登録商標、または商標です。●無断複写・転載を禁じます。●本サービスガイドは2024年4月1日時点での情報をもとに作成されております。
©2024 CRIF Japan KK All rights reserved.